

# ②7 横浜開港資料館における文化観光拠点計画

## 計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：横浜開港資料館（横浜市）  
 文化観光推進事業者：（公財）横浜市ふるさと歴史財団  
 （公財）横浜観光コンベンション・ビューロー 山下公園通り会  
 協同組合元町SS会 横浜中華街発展会協同組合

## 計画期間

2021（R3）年度～ 2025（R7）年度（5年間）

## 目標

- 資料館来館者数  
2020年度12千人→2025年度112千人（+100千人）  
20年度はコロナ禍による減。過去5年平均は56千人
- 外国人来訪者数  
2020年度142人→2025年度11200人  
※10年後（2030年度）には20千人
- 来館者満足度  
2020年度3.67→2025年度 4.1（+0.5ポイント）

## 文化観光拠点施設機能強化事業

### <1.文化資源の魅力の増進>

- 「横浜開港」資料をデジタルアーカイブで公開し、山下公園・元町・横浜中華街に関する展示と連動して情報発信

### <2.文化についての理解促進>

- スマホ・タブレット端末対応の多言語解説アプリの提供

### <3.文化観光に関する利便の増進>

- 専門職員監修の伝統的観光地エリア内のガイドツアー実施

### <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- 所蔵資料を活用し歴史的メニューの再現やオリジナル商品を開発

### <5.国内外への宣伝>

- 大栈橋や羽田空港、近隣ターミナル駅など、旅客のターゲット別に段階的にプロモーションを実施

### <6.施設又は設備の整備>

- 旧館のバリアフリー改修や公衆Wi-Fiの整備

## 文化観光推進事業費（5年間の計画ベース）

351.5百万円（うち、文化観光推進事業補助金227百万円）

## 計画区域

### 横浜伝統的観光地エリア（山下公園・元町・横浜中華街）



**中核文化観光拠点施設**  
（主要な文化資源）

**主要な文化資源**  
（文化財等の種類）

**飲食施設**  
**販売施設**

**宿泊施設**  
**その他施設**